

博物館の舞台裏② ～学芸員の仕事って？～

(内容が難しい場合は担任の先生などが解説してください)

*** 主な学芸員の仕事は ***

- ①博物館資料の収集・整理: 未来へ伝えるために博物館で保存する資料を、それぞれの博物館のテーマに沿って選び、収集・整理します。元の持ち主から寄贈してもらったり、買ったりします。集めた資料は、分類して整理します。
- ②博物館資料の保管・保存: 集めた資料を、状態が悪くならないように適切に処理して保管・保存します。紙や骨や土器や、それぞれの資料によって保存方法が違います。破れたり壊れたりしたものは修復して、より長く保存できるようにします。
- ③博物館資料の展示・活用: 集めた資料を収蔵庫にただしまっておくのではなく、広く世の中の人に紹介するのも大切な仕事です。いつでも見られるよう館の常設展に展示したり、いろいろなテーマで分類して企画展で展示したりします。
- ④博物館資料の調査研究: 博物館が持っている資料について、調べたり研究したりします。新しく発見された資料と持っている資料を比べたり、大学とっしょに研究したりして、新たに分かったことを論文として発表したり、企画展で広く紹介したりします。
- ⑤教育普及活動等、博物館資料と関連する事業: 校外学習で博物館に来るみなさんに展示の説明をしたり、イベントを開催したりして、多くの方に博物館の資料や扱っているテーマについて知ってもらうことも学芸員の仕事です。ただ資料を見せるだけでなく、間に立って説明したり、いっしょに考えたりすることで、博物館の資料と来館者をつなぐ仕事をしています。

学芸員になるには大学で勉強したり試験を受けたりして、資格をとる必要があります。